

シプロキサン錠 100mg シプロキサン錠 200mg

【この薬は？】

販売名	シプロキサン錠 100mg Ciproxan Tablets 100	シプロキサン錠 200mg Ciproxan Tablets 200
一般名	シプロフロキサシン塩酸塩 Ciprofloxacin Hydrochloride Hydrate	
含有量 (1錠中)	116.4mg (シプロフロキサシンとして100mg)	232.8mg (シプロフロキサシンとして200mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ニューキノロン系経口用抗菌剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、細菌のDNA（デオキシリボ核酸）の複製にかかわる酵素の作用を妨げることにより、細菌の増殖をおさえ、殺菌作用を示します。
- ・次の病気の人に処方されます。

〈適応症〉

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、精巣上体炎（副睾丸炎）、尿道炎、胆嚢炎、

胆管炎、感染性腸炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、
麦粒腫、瞼板腺炎、中耳炎、副鼻腔炎、炭疽

〈適応菌種〉

シプロフロキサシンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、淋菌、炭疽菌、大腸菌、赤痢菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア属、インフルエンザ菌、緑膿菌、アシネトバクター属、レジオネラ属、ペプトストレプトコッカス属

- ・この抗菌薬は自己判断で飲むのを止めたり、飲む量を減らしたりしないでください。指示通りにきちんと飲まないで、治療効果が低下するばかりでなく、原因菌がこの薬の効かない菌に変化したり、他の抗菌薬も効かなくなったりする可能性があります。医師の指示通りに飲むことが大切です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にシプロキササン錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・ケトプロフェン（皮膚外用剤を除く）（カピステンなど）を使用している人
- ・チザニジン塩酸塩（テルネリンなど）を使用している人
- ・ロミタピドメシル酸塩（ジャクスタピッド）を使用している人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人（ただし、炭疽の患者を除く）
- ・小児（ただし、炭疽の患児を除く）

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・気管支喘息、発疹、蕁麻疹などのアレルギー症状をおこしやすい体質の人、または両親、兄弟にこれらの体質がある人
- ・高度の腎障害がある人
- ・てんかんなどのけいれん性疾患の人、または過去にこれらの疾患と診断されたことがある人
- ・重症筋無力症の人
- ・高齢の人
- ・QT延長（心電図の異常）をおこすおそれのある人
- ・大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子（マルファン症候群など）のある人

○この薬には併用してはいけない薬[ケトプロフェン製剤（皮膚外用剤を除く）（カピステンなど）、チザニジン塩酸塩（テルネリンなど）、ロミタピドメシル酸塩（ジャクスタピッド）]や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子（マルファン症候群など）のある人は、画像検査が行われることがあります。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は次のとおりです。

[疾患表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、精巣上体炎（副睾丸炎）、尿道炎、胆嚢炎、胆管炎、感染性腸炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、中耳炎、副鼻腔炎]

販売名	シプロキササン錠 100 mg	シプロキササン錠 200 mg
一回量	1～2錠	1錠
使用回数	1日2～3回	

[炭疽]

販売名	シプロキササン錠 100 mg	シプロキササン錠 200 mg
一回量	4錠	2錠
使用回数	1日2回	

●どのように飲むか？

コップ一杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

腎毒性があらわれる可能性があります。異常を感じたら、すぐに受診して下さい。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・大動脈瘤、大動脈解離があらわれることがあるので、腹部、胸部、背部に痛みなどの症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。これにより画像検査が行われることがあります。
- ・授乳中の方は、授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失

アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
大腸炎 だいちょうえん	発熱、お腹が張る、腹痛、水のような便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
骨髄抑制 こつずいよくせい	発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸、息切れ
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
劇症肝炎 げきしょうかんえん	急な意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis : TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（トキシックエピダーマルネクロライシス：テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節や喉の痛み
急性汎発性発疹性膿疱症 きゅうせいはんぱつせいほんしんせいのうほうしょう	発熱、皮膚が広い範囲で赤くなる、ところどころに小さな膿をとともう発疹が出る





急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	発熱、発疹、関節の痛み、吐き気、嘔吐（おうと）、下痢、腹痛、むくみ、尿量が減る
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害 あきれすけんえん、けんだんれつなどのけんしょうがい	アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、注射した指の関節を曲げにくい、注射した指の関節を伸ばしにくい、注射した指の関節が曲がらない
錯乱、抑うつ等の精神症状 さくらん、よくうつなどのせいしんしょうじょう	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、気分がゆううつになる、悲観的になる、思考力の低下、不眠、食欲不振、体がだるい
重症筋無力症の悪化 じゅうしょうきんむりょくしょうのあくか	まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感、食べ物が飲み込みにくい
血管炎 けっかんえん	発熱、手足のしびれ、皮下出血によるあざ、皮膚の潰瘍
QT 延長（心電図の異常） きゆうていーえんちょう	めまい、動悸、気を失う
心室頻拍（Torsades de pointes を含む） しんしつひんぱく（トルサドド ポワントをふくむ）	めまい、動悸、胸の不快感、気を失う
大動脈瘤 だいどうみやくりゅう	声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる、息苦しい、食べ物が飲み込みにくい、胸の痛み、背中の痛み、腹痛
大動脈解離 だいどうみやくかいり	激しい胸の痛み、激しい背中の痛み、激しい腹痛

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、発熱、寒気、脱力感、疲れやすい、けいれん、顔や手足の筋肉がぴくつく、出血が止まりにくい、出血しやすい、突然の高熱、体がかゆくなる、急激に体重が増える、体がだるい、力が入らない、むくみ
頭部	めまい、意識の消失、意識の低下、一時的にボーっとする、頭が重い、急な意識の低下、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、気分がゆううつになる、悲観的になる、思考力の低下、不眠、気を失う

顔面	顔面蒼白、血の気が引く、鼻血
眼	白目が黄色くなる、目の充血やただれ、まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える
耳	耳鳴り
口や喉	喉のかゆみ、咳、喉の痛み、歯ぐきの出血、血を吐く、吐き気、唇や口内のただれ、嘔吐、食べ物が飲み込みにくい、声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる
胸部	動悸、息苦しい、息切れ、胸の不快感、胸の痛み、激しい胸の痛み
腹部	お腹が張る、腹痛、お腹がすく、食欲不振、激しい腹痛
背中	背中痛み、激しい背中痛み
手・足	手足が冷たくなる、手足のこわばり、手足のしびれ、手足のふるえ、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、関節や喉の痛み、関節の痛み、アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、注射した指の関節を曲げにくい、注射した指の関節を伸ばしにくい、注射した指の関節が曲がらない
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、発疹、あおあざができる、皮膚が黄色くなる、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなる、ところどころに小さな膿をともなう発疹が出る、皮下出血によるあざ、皮膚の潰瘍
筋肉	筋肉の疲労感、筋肉の痛み
便	下痢、水のような便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
尿	尿が赤褐色になる、尿の色が濃くなる、尿量が減る

【この薬の形は？】

販売名	シプロキシサン錠 100mg	シプロキシサン錠 200mg
形状	フィルムコーティング錠 	フィルムコーティング錠 
PTP シート	表 裏 	表 裏 
直径	8mm	10mm
厚さ	3.1mm	4.0mm
重さ	153mg	305mg

色	白色～淡黄色	
識別コード	CIP 100	CIP 200

【この薬に含まれているのは？】

販売名	シプロキサン錠 100mg	シプロキサン錠 200mg
有効成分	日本薬局方 シプロフロキサシン塩酸塩水和物	
添加物	結晶セルロース、トウモロコシデンプン、クロスポビドン、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール 4000、酸化チタン	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避け、室温（1～30℃）で保存してください。
- ・子供の手の届かない所に保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：バイエル薬品株式会社 (<https://www.pharma.bayer.jp/>)

電話：0120-106-398

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、弊社休日を除く）